

波佐見中学校学校便り

第22号

編集・発行

波佐見中学校

校長 池本敦司

歴史と文化について知る

修学旅行(関西・九州北部)

11月19日(火)から21日(木)の日程で2年生が大阪・京都・九州北部に修学旅行に行きました。前日までの小春日和から一転、初冬を思わせる肌寒さと風の影響で、いつも以上に寒く感じました。



USJのホグワーツ城=11月19日

バスで新鳥栖まで行き、新鳥栖から新幹線で新神戸まで。あつという間に関西入り。生徒たちは「今学校ならまだ3時間目くらいやね」などと、話をしていました。昼から楽しみにしていたUSJ。乗り物に乗ったり、キャラクターの被り物を購入したり、お土産を

購入したりと、それぞれ思い出に残るひと時になったようでした。2日目は京都市内自主研修。インバウンドの影響で、紅葉のシーズンということもあり、各観光名所は鈴なりの人ばかり。清水寺の参道は、ここは本当に日本ののだろうかと思う



人・人・人の清水寺=生徒撮影

くらしい、外国からの観光客が多く、周りから聞こえてくる言葉も、英語だけでなく韓国語や中国語など様々でした。「地下鉄に乗り間違えて、大阪方面に行ってしまったが、間違いに気づいた。周りの大人に聞いて何とか帰ってこれた」という班もあったようです。大変い学びをしたなと思いました。今は、スマホ一つあればある程度のことなどはなくてもわかってしまう時代。でも「体験」という意味では、インターネットの世界はあくまでも仮想現実。実

際の体験からの学びにはまだ勝てないでしょう。フエリーでの船中泊も思い出になったのではないかと思います。前日の旅館の食事は豪華でおいしかったのですが、「フエリーでの食事のほうが旅館の食事よりもおいしい」と話す生徒もいました。何を食べるかも大切ですが、誰とどこで食べるのかも大切。友人とフエリーで食べた食事も思い出の一コマです。

最終日は大宰府へ。九州国立博物館と太宰府天満宮の散策でした。九州国立博物館は1時間ほどの見学でしたが、興味深い資料や展示物が数多くあり、もう少し見たいなど個人的には思いました。天満宮では自由時間におみくじを引く生徒たちが多くいました。「大吉」ばかりではなかったようですが、「学問努力すれば成る」を引いた生徒も。これで来年の受験もばっちりでしょう。私にとつても、校長として初めて引率した修学旅行

でもとも思い出に残る旅になりました。とにかく、大きな事故やけが、病気がなく途中で保護者の方にお迎えをお願いするようなことがなく戻ってこられたことにとてもホッとしました。2年生は自主研修のまとめを12月3日に行い、修学旅行の自主研修を中心とした学びの振り返りもしつかりと行っていました。

この後、2年生は波佐見中学校をリードしていくこととなります。修学旅行での多くの学びを生かしながら、さらに大きく成長してくれることを期待しています。



空の青・山の緑に映える金閣寺 生徒撮影

校長日記

朝の短学活前の時間。朝読書の後なので校舎内は静かだ。これまで朝はあまり校舎内を歩いてなかった▼靴箱を見ると、かかどが揃えられた靴が整然と並ぶ。先生方の指導と生徒の心掛けが合わさった結果だろう▼生徒玄関に並ぶ1年生の作陶の作品と学習成果をまとめた新聞の掲示。そのレベルの高さに驚く。ここにも先生の指導と生徒の頑張りが。作品は12月初旬まで展示しているのでぜひ御覧ください(私はアオリイカの絵付けに釘付けでした)▼階段を上がり、2階管理棟を通ると1教諭がハンディワイパーで廊下を掃除中。生徒たちはきちんと掃除をしているが、それでも取り切れない汚れがあるので時々こうして拭いているんですよとのこと。ここにも生徒の頑張りときりげない先生のおかげ▼いつもと違う時間だから気づくこと。朝から気持ちよかったです。